

寺報

発行 福島市田沢字寺前18
長秀院・仲興寺
TEL 024(548)1240
FAX 024(573)1202
ホームページ <http://www.choshuin.jp/>
e-mail info@choshuin.jp/

編集責任 渡辺 祥文

東日本大震災殉難諸精霊、あわせて
東京電力福島第一原子力発電所事故の
殉難関連被災諸精霊十二回忌正當に対し
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和五年二月

私たちも五月には、マスクを
はずす予定です。



田澤山長秀院
清水山仲興寺

代表役員 渡辺 祥文

並 総代世話人一同

花まつり 釈尊降誕会

四月八日はお釈迦様のお誕生日です。ご誕生のおり天から花びらと甘露の水が降りそそいだ故事と、お釈迦様をまつる御堂に花をかざることから花まつりと呼ばれるます。かわいらしいお釈迦様に甘茶をそそぎ、そのご誕生をお祝いたします。

苦しいときも、嬉しいときも、生きて
いる有難さを忘れず大切に歩むことを誓
うことが大きな願いです。

大震災から十二年目となります。人と
人との絆を大切にして、皆ではげまし合
いながらコロナ禍四年目、進んでまいり
ましょう。

案内板

東日本大震災
大津波
原発事故等関連死
殉難諸精霊

十二回忌追善供養会

三月二十八日 午後二時より

今年は大震災十三回忌の
追善法要を行ないます。ど
なたでもご参列いただき、
共にご焼香して各精霊をお
なぐさめ致します。

三月十七日(金)

午前十時

・清水町 仲興寺(代表者にて)
※彼岸会・念佛供養会において

三月二十八日(火)

午後二時

・田沢 長秀院(代表者にて)
※不動尊大祭・大般若会において

令和五年 春彼岸会

山主 拝



徐々に暖かくなり、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は、永平寺での修行の振り返りをお休みして、三月十、十一日に厳修された、曹洞宗福島県青年会主催の東日本大震災十三回忌に関連した諸法要に随喜してまいりましたので、その様子をご紹介しますと思います。

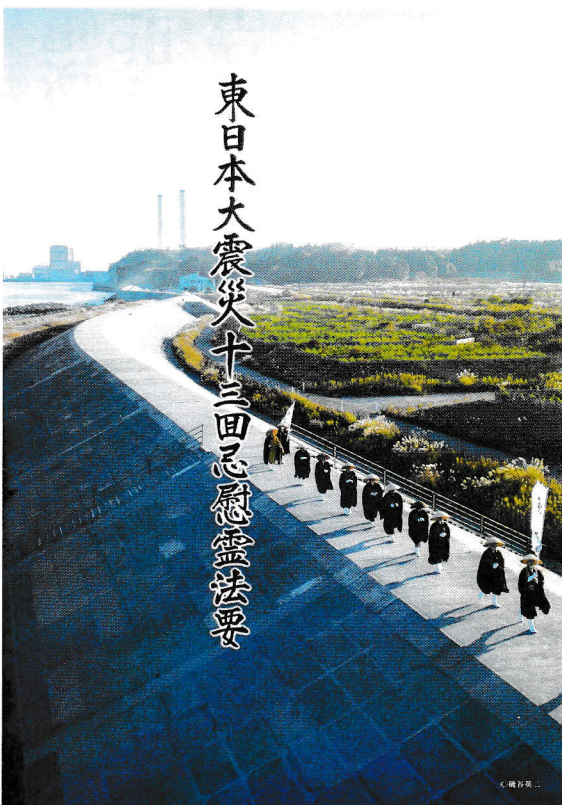
三月十日には、東日本大震災十三回忌奉賛事業『福島浜街道「絆の道」』行脚あんぎゃに参加し慰霊のご供養をつとめてまいりました。行脚慰霊は全十三回行われた内の最終回で、相馬市の「原釜慰霊碑」から「新地釣師浜防災緑地公園」まで約六・五kmを北上しました。当日は天候にも恵

まれ、右手に見える相馬の海に亡き方々への思いを重ねながらお経をお唱えし歩かせていただきました。

三月十一日は、午前中に「南萱浜慰霊碑」「下浜佐寄り添い地蔵」「烏崎慰霊碑」を順に巡り、地元の方とともに慰霊碑法要を勤修しました。

十二年前震災の日、私は高校一年でした。高校の教室で大きな揺れに驚き、夜十一時父が迎えに来てくれようやく自宅に帰ることができました。旭台団地の法の面めんが崩れ、四号線の道路が寸断されていました。母、姉、

兄は兄の大学のアパート契約のため東京・千葉方面に三月十一日の午前十時に福島を出て、結局三月下旬まで帰宅難民になりました。原発事故が追い討ちとなり、ただ不安の中で、父に「放射能が降つてる、外に出るな!!」と言われ室内にこもっていたのを思い出します。情報が無い状態で、日時が経過し、東日本の海岸の惨状を知りました。今思っても胸が苦しくなります。どれほどの人が亡くなり、どれほどの人が悲しんでいるのか、十二年経つても変わらないと思います。



午後には相馬市「ほこだて仏光堂」にて、東日本大震災十
三回忌慰霊法要を厳修致しました。法要の様子はYOUTU
beにてライブ配信されており、会場で参列された方、遠く
離れた地で配信を見ている方と
ともに慰霊の時間を共にしまし
た。

東日本大震災の大きな節目の
年であり、慰霊の場に随喜でき
本当に心の底から感ずるものが
ありました。これからもあの日
の体験と、多くの人の悲しみを
忘れずに生きていきます。



「ウイズコロナ」ということ (七)

コロナ禍も四年目となりました。令和四年十二月から令和
五年二月までは、感染者に関しては最も多かつたのではない
でしょうか。それでもようやく五月からは、令和元年並に戻
ると良いと考えています。

実質令和二年三月からのコロナ禍は、本当に長い時間とし
た。当時中学校・高校入学した生徒さん方が、マスク生活の
三年間を過ごし卒業しました。「どんな顔か、クラスが違おうと
今もわかりません」という言葉に絶句するしかありません。

五月以降、寺院の行事も戻していきたいと思えます。マス
クもそれぞれの判断となりましょう。手指消毒は続けていく
べきかと思えます。正直いろいろ考えなければならぬと思
います。行政的には、前に戻すことですが、予防に関する事
柄については慎重に行つていきます。

寺院行事も従前の形に少しずつ戻
していきたいと考えております。

新型コロナウイルスがなくなつた
わけではないので、この点は忘れな
いようにしたいと考えています。

(住職拝記)



行事案内

長秀院

四月十七日(月)

貝沼出世観音例大祭

仲興寺

五月七日(日)

(旧)三月十八日例祭日

聖観音大祭

清水町観音講中

本年も代表者による例祭といたします。春は観音様の例祭が多い時期です。それぞれの地域の観音様があります。どうぞお参りください。

★ありがとうございます★

●境内除雪奉仕

長沢辰夫様

●寺報援助金一万円

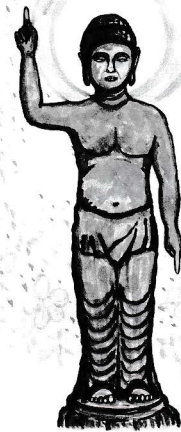
丹治智子様

●地藏尊帽子・前掛寄進

丹治トク様

福島市仏教会主催

「花まつり」講演会



期日 令和五年四月三日(月)

午後二時開会

場所 クーラクーリアンテサンパレス (旧サンパレス福島)

※入場には整理券が必要です。お寺にお申し込みください。必ず差し上げます。

福島市仏教会主催の講演会です。仏教会は市内各宗派一〇二ヶ寺で組織されています。

※入場整理券は必ずお寺へお申し込みください。

五月二十四日(水)

全国梅花流奉詠大会

於 東京都江東区有明

「東京ガーデンシアター」

住職より

行事等も五月以降は従前に戻していきたいと存じます。いろいろお世話になるかと思えます。改めて宜しくお願いいたします。



おねがい

住職が法務で不在となることも多くありますので、ご来山前にお電話等で必ず確認をお願いいたします。

電話 〇二四一五四八一〜二四〇
FAX 〇二四一五七三一〜二〇二